

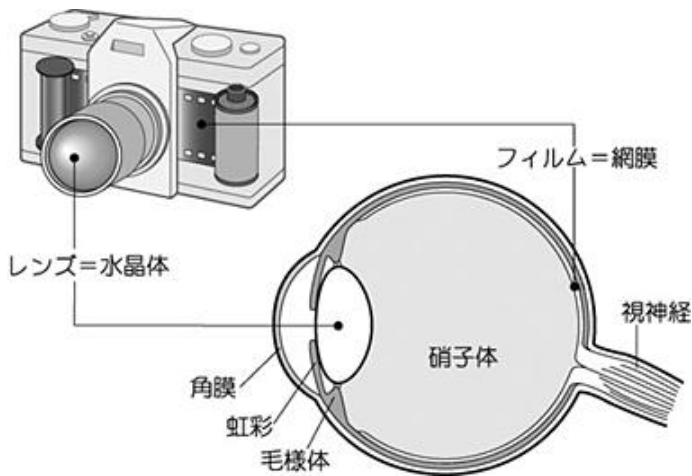
眼科とアトピー性皮膚炎のタダならぬ関係⑥

やっと先週「まん延防止等重点措置」が解除されました。まずはひと安心？という雰囲気でしょうか…新型コロナの新規発症患者数の『増加』が…やっとの事でピークを越えて減少傾向となっている…という事なのですが、未だに新型コロナを新規に発症する患者さんの数は多い状態です。引き続きの感染対策が大切です。それでは前回号に続いてアトピー性皮膚炎の解説の引用を続けます。@@@@@
円錐角膜の治療は、まず専用に調整したハードコンタクトレンズの装用ですが、まぶたの皮膚炎や結膜炎の症状が強いと、レンズが脱落しやすく治療効果が上がりませんので、皮膚炎や結膜炎を同時に治療する必要があります。円錐角膜の程度が強いと角膜移植を行わなければなりません。

6-1.アトピー白内障とは

目をカメラに例えると、カメラのレンズにあたる部分を水晶体といい、この部分が白く濁った状態を白内障とよびます。白内障の原因で最も多いのは加齢によるものですが、その他に先天性、外傷、糖尿病などの全身代謝異常、他の目の病気によっても生じます。アトピー性皮膚炎によってもおこり、代表的な眼合併症のひとつです。

どうしてアトピー性皮膚炎に合併するのかはわかりませんが、皮膚炎にかかっている時期が長いほど、また顔の皮膚症状が重いほど白内障を合併する率が高いといわれます。目のかゆみのために目をこすったり、叩いたりする行為が関与している可能性もあります。アトピー白内障の水晶体の濁り方は、レンズの厚い部分(嚢)にヒトデ状・クローバー状に広がる前嚢下混濁や、皿状の後嚢下混濁を示して、比較的特徴があります。これらの嚢下混濁の状態からあまり時間をおかず、水晶体全体が濁る成熟白内障(膨潤白内障)に進んでしま



うこともあります。白内障があると、物がかすんで見えたり、まぶしく見えたり、二重に見えたりして、進行すると視力が低下します。片方の目だけに白内障が生じた場合、初めのうちはなかなか気づかないことも多いので、見え方がおかしいと感じたり、顔の皮膚炎が重症な方は、時々片目をかくして、見え方を確認してください。

6-2.アトピー白内障の手術

ふつうの白内障に準じた手術による治療が行われますが、加齢性白内障より難しい問題がいくつかあります。白内障手術に加えて、網膜剥離の治療に精通した施設での治療が望まれます。

加齢性白内障と異なる点

1. 網膜剥離や網膜裂孔(「7-4.アトピー網膜剥離の治療」参照)などを合併していることが多く、白内障の手術中にその合併症を確認する必要があります。同時手術が必要なことも少なくありません。
2. 網膜剥離などの合併症がある場合には、眼内レンズの挿入ができない場合や、しないほうがよい場合があります。

今月のお知らせ

今月号では白内障の話題となりました、一般的な白内障についてはフジタガンカニュースのバックナンバーVol.91-108で解説しています。ご希望なら受付までお申し出ください！

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
今月はここまで、続きは次号で解説をしたいと思います、お楽しみに！



<http://www.fujita-ganka.com>

FUJITA-EYE-CLINIC
藤田眼科
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)
F-Vision

☎ **042 (645) 0575**
☎ **042 (642) 2911**